

市町村名		与那原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	与那原町魅力発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—3—(2)—(イ)		
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	本町の魅力を県内外に広く発信するため、一年を通して各種イベントを実施し情報発信を行う。また、イメージキャラクター等のプロモーション及び観光促進コンテンツを制作し、本町のイメージキャラクター及び観光PRを通して観光客誘致を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	84,055	60,380	54,519	18,665	18,142
	(b) 予算現額	38,461	58,367	45,845	6,160	6,817	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 45,594	▲ 2,013	▲ 8,674	▲ 12,505	▲ 11,325	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	38,461	58,367	45,845	6,160	6,817	
	B. 執行済額	36,591	57,187	41,975	6,015	6,454	
	うち交付金充当額	29,273	45,749	33,580	4,812	5,163	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.1%	98.0%	91.6%	97.6%	94.7%	
予算の状況の説明	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大綱曳が中止となったことに伴い、▲11,688千円の減額を行った。なお不要額363千円については入札残等によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「スタンプラリー」を開催する	目標	(5回)	(2回)	(1回)	(1回)	
		実績	5回	2回	1回	1回	
	平成30年度に誕生したイメージキャラクターのプロモーションを行う	目標	(1式)	(1式)	(1式)	(1式)	
		実績	1式	1式	1式	1式	
	観光促進コンテンツ制作	目標	(コンテンツ制作)	()	()	()	
		実績		コンテンツ制作			
	大綱曳PR資料作成	目標	()	(1式)	()	()	
		実績		1式			
与那原大綱曳まつり運営補助	目標	(1式)	(1式)	()	()		
	実績	1式	1式				
観光施設案内標識板を設置し観光客のスムーズな誘導を行う	目標	()	()	()	(1式)		
	実績				1式		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付団体である「与那原地区社交飲食業組合」では、新たな顧客の獲得と組合の活性化を目的とし、組合に加盟する店舗をめぐり商品を獲得する「スタンプラリー」イベントを実施した。 ・イメージキャラクター等プロモーション事業においては「つなひきかちゃんオリジナルのドーム型エアードレス」の制作、「つなひきかちゃんオリジナルターボリンフラッグ」の制作、「つなひきかちゃんからゆしウェア」の制作、職員向けの「つなひきかちゃんバルーンアート教室」を開催した。 ・東浜地区内に設置され、公共施設を案内していた案内標識板を観光案内案内標識板に変更し、設置工事を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	与那原大綱曳まつりの誘客	目標	()	(24,000人)	()	()	()
		実績		68,000人			
	与那原大綱曳まつりの満足度	目標	()	(70%)	()	()	()
		実績		72%			
	「ゆかた祭り」「スタンプラリー」への参加	目標	()	(4,000人)	()	()	()
		実績		1,069人			
	「スタンプラリー」への参加	目標	()	()	(600人)	(300人)	()
		実績			659人	133人	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・「与那原大綱曳まつりの誘客、満足度」の目標については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大綱曳中止となったことに伴い、成果目標から外した。 ・補助金の交付団体である与那原地区社交飲食業組合では「スタンプラリー」イベントを実施し、133人の方がスタンプラリーのイベントに参加し、参加者が店に来店した総数は延べて505回となった。また、新規組合員が7店舗加入するなど、社交飲食業組合の組織強化にもつながった。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージキャラクタープロモーション事業においては、町内の大人向けや県外のプロモーション活動が弱く認知度が低い。 ・今回で5回目の開催となる「スタンプラリー事業」は、年々参加店舗も増えてきており、盛り上がりの兆しは見える。しかし、コロナ禍の中のイベントはコロナ陽性者数の影響を受けやすく、今年度は参加者も200名を下回った。恒例事業として定着しつつあるが、マンネリ化する恐れもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルフラッグの設置や式典・イベント等でのイメージキャラクター「つなひきかちゃん」かりゆしウェア着用などを積極的にを行い、大人向けのプロモーション活動にも積極的に取り組む。 ・「スタンプラリー事業」がマンネリ化しないように内容の精査や新たな事業提案や取り組みも積極的に行う必要がある。

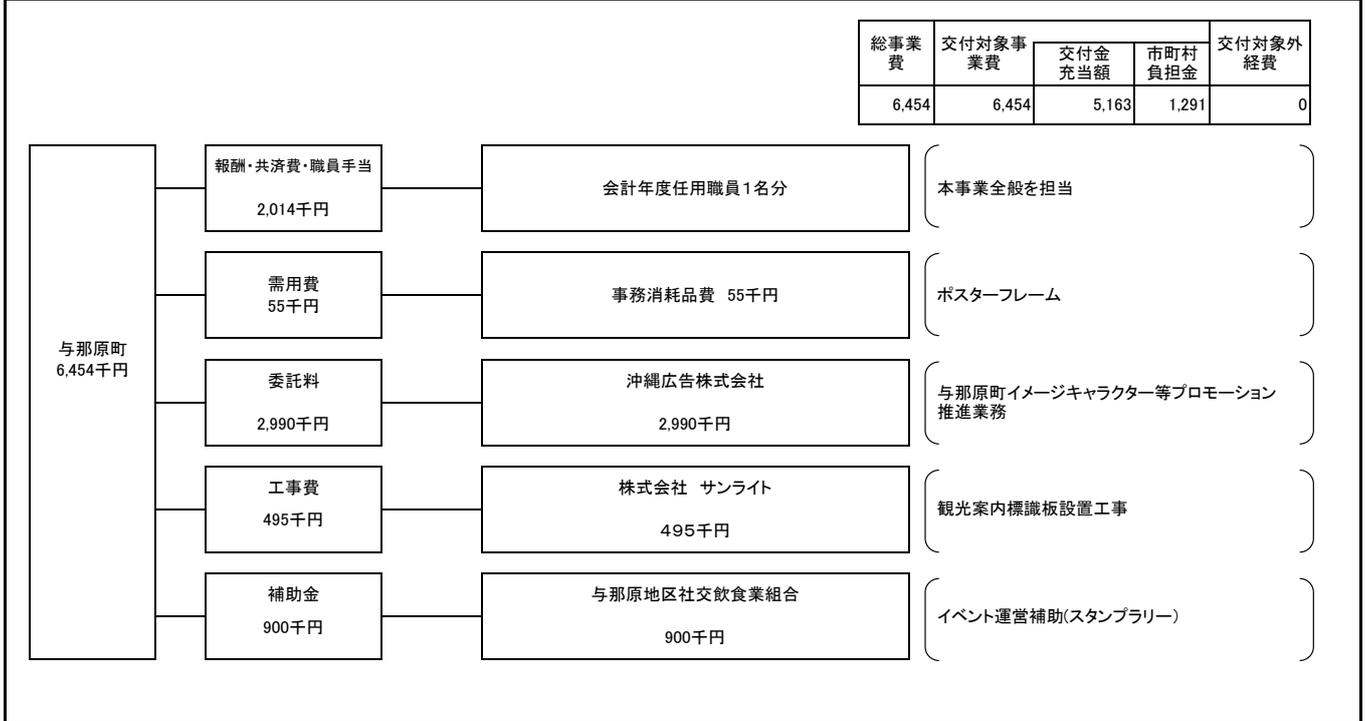
今後の取り組み方針

・イベントなどでオリジナルのグッズを積極的に活用し、町内の主要な通り、沿岸線のウォーキングコースなどにオリジナルフラッグの設置、オリジナルかりゆしウェアの着用など、今年度制作したものを最大限活用して子供からお年寄りへイメージキャラクター「つなひきかちゃん」の周知徹底を図る。

・コロナ禍でも開催可能なイベントを立案する。

・今後も「与那原町観光実施計画」の重点施策の3本柱である「Ⅰ. 大綱曳、Ⅱ 水路、Ⅲ. MICE」を主軸として、効率的で持続可能な事業を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

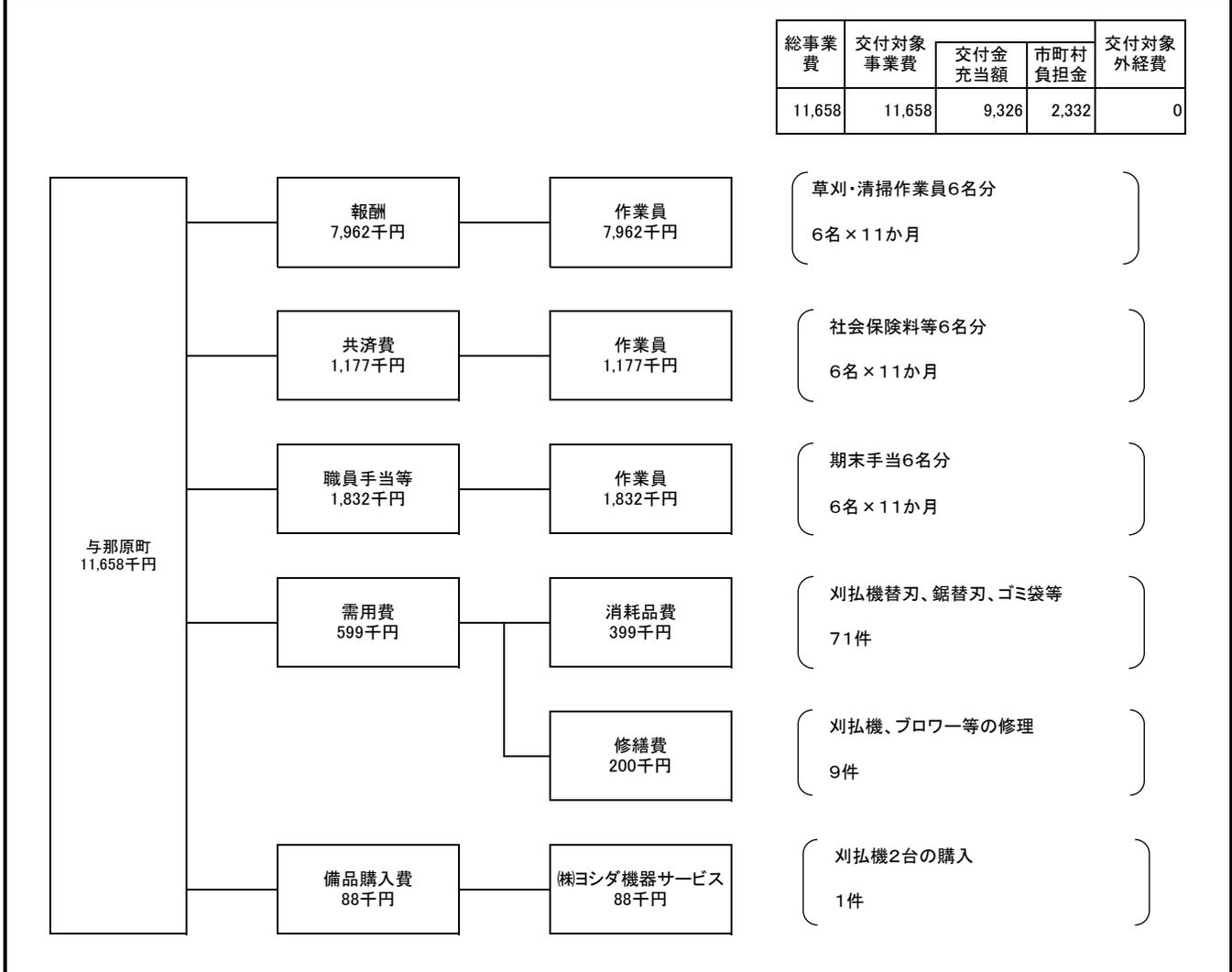


資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、本町の契約・会計規則に基づき、見積りによる競争や指名競争入札、プロポーザルにより選定しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数見積等により予算を確定しており予算規模は妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、「与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱」に定める交付率に基づいており、負担関係は妥当であると考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実施段階で十分な検討を重ねており、目的に即した真に必要なものとなっている。

市町村名		与那原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(工)	
	担当部署名	まちづくり課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		本町を訪れる観光客等の満足度を向上させるため、散策コースの環境美化(剪定・除草・植栽整備等)を実施し、観光地としてふさわしい景観及び環境を創出する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	26,346	39,757	13,658	10,546	12,271
		(b)予算現額	24,647	33,907	11,636	11,098	11,865
		(c)増減額(b-a)	▲1,699	▲5,850	▲2,022	552	▲406
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	24,647	33,907	11,636	11,098	11,865
	B.執行済額		22,798	32,858	11,530	11,029	11,658
	うち交付金充当額		18,238	26,286	9,224	8,823	9,326
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.5%	96.9%	99.1%	99.4%	98.3%
予算の状況の説明		当初予算から、職員手当及び共済費の金額見直しにより、合計406千円の減額。不用額207千円については、悪天候等により作業が出来なかったため、作業員の出勤数減に伴う報酬の減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	散策コース環境美化作業員配置 6名		目標 (8名)	(8名)	(6名)	(6名)	
			実績	8名	6名	6名	
	【参考指標】 町内各所への花木の植樹		目標 (ブランター設置工事実施)	(花苗植樹の実施)	()	()	
			実績	ブランター設置工事完了	花苗植樹の完了		
	【参考指標】 散策コース周辺整備設計業務委託		目標 (詳細設計業務実施)	()	()	()	
			実績	詳細設計業務完了			
【参考指標】 散策コース周辺整備工事		目標 (整備工事実施)	()	()	()		
		実績	整備工事完了				
達成状況説明	・散策コースを作業員6名により定期的に美化清掃を繰り返すことで、環境の美化を維持することができ、散策コースを気持ちよく回遊できる景観及び環境を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、「観光地としてふさわしい景観及び環境である」(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	96.39%	—	81.60%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	例年、与那原大綱曳まつり等でのアンケート調査を実施し、指標実績を算出するが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響により、各種イベントが自粛されたため、住民向けアンケート調査へ切り替え実施した。肯定的な意見が全体の80%を超えており、成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度と同様に作業員6名であったが、天候等も考慮し草刈・清掃箇所を効率的に実施することができた。 会計年度任用職員の報酬費、共済費、職員手当などの予算の執行管理をしっかり行えたため、執行率98%以上を達成できた。 コロナ過において、各種イベントで実施していたアンケート調査が実施できなかったため、アンケート調査の手法及び指標について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 草刈・清掃箇所については、道路や歩道沿いとなっていることから、安全面にも考慮しながらできるだけ効率よく実施できるように引き続き工夫していく必要がある。 予算に関して、必要額・不用額について早めに判断し、早い時期での事業計画の変更等を行うことが必要である。 成果目標判断するためのアンケート調査については、イベントでの調査のみならずその他手法を用いて、コロナ過でも実施できる方法を検討した。また、新たな指標についても検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 作業について、安全面等に考慮しながら、引き続き効率的に実施する。 作業員へ刈払機の取扱い講習を受講させ、安全に事業を実施出来るよう推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

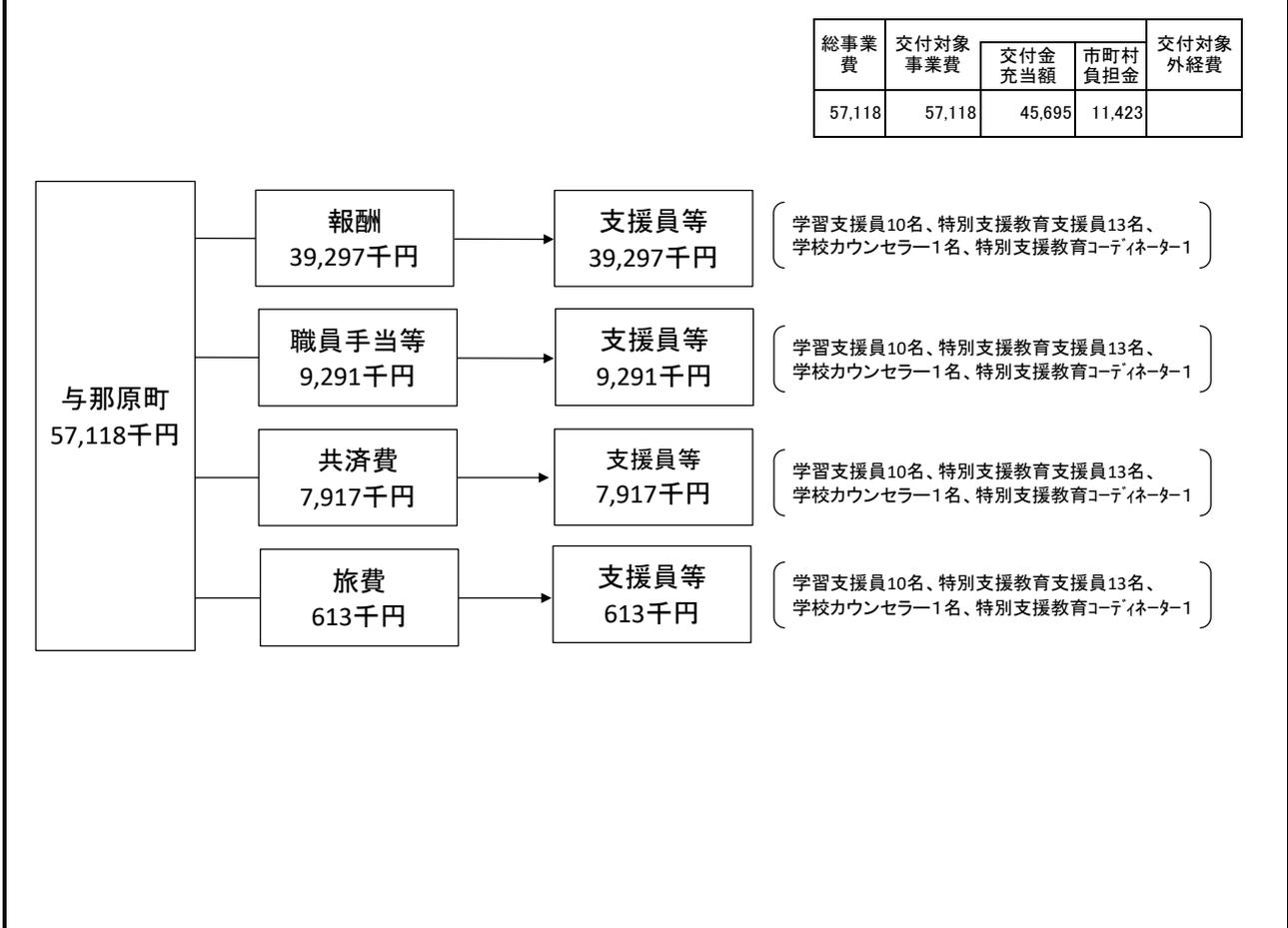


資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の選定については、面接により選定し、条例・規則に基づき任用しており妥当であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の執行率が98.3%となっていることから適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習の遅れ気味な児童生徒に対し、学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 特別な支援を要する不登校の児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額		90,911	74,887	79,091	69,280	64,054
			78,313	72,119	66,392	63,396	59,990
			▲ 12,598	▲ 2,768	▲ 12,699	▲ 5,884	▲ 4,064
	A. 計(b+d)		78,313	72,119	66,392	63,396	59,990
		B. 執行済額	75,305	65,949	60,423	60,791	57,118
	うち交付金充当額	60,244	52,758	48,338	48,633	45,695	
	次年度繰越額	0	0	0		0	
	執行率(%) (B/A)	96.2%	91.4%	91.0%	95.9%	95.2%	
予算の状況の説明	不用額は、途中退職者の欠員補充として採用分の予算を確保していたが、応募がなかったため。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員 10名配置	目標	(18名)	(18名)	(13名)	(10名)	
		実績	18名	18名	13名	10名	
	特別支援教育支援員 14名配置	目標	(16名)	(17名)	(15名)	(14名)	
		実績	16名	17名	15名	13名	
	スクールカウンセラー 1名配置	目標	(1名)	(2名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	2名	1名	1名	
	特別支援教育コーディネーター 1名配置	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
放課後学習支援員 4名配置	目標	(4名)	(4名)	(4名)	(4名)		
	実績	4名	4名	0名	0名		
達成状況説明	特別支援教育コーディネーターは定期的に学校訪問し、気になる児童生徒の指導方法の改善に関する助言等を行った。 スクールカウンセラーは定期的に学校訪問し、児童生徒の教育相談、保護者との面談等を行った。 学習支援員は授業で担任の指導の下、児童生徒に対して学習支援、補習指導を行った。 特別支援教育支援員は、気になる児童生徒の学習支援や学校生活支援を行った。 放課後学習支援員は、新型コロナウイルス感染症の流行による派遣元の懸念により配置を行わなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差 0.3以上 中学校:県との差 0.0以上	目標	()	(小学校+0.3 中学校+2.3)	(小学校+0.3 中学校+0.9)	(小学校+0.3 中学校+0.0)	()
		実績		小学校-1.2 中学校-0.4	小学校-3.3 中学校-4.4	小学校-1.7 中学校-2.6	
	不登校児童生徒復帰率 10%以上	目標	()	(復帰率 10%以上)	(復帰率 10%以上)	(復帰率 10%以上)	()
		実績		復帰率8.9%	復帰率11.9%	復帰率31.8%	
	「特別支援教育支援員の対応への満足度」 (80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			97.80%	98.30%	92.75%		
進捗状況説明	小学校・中学生ともに「沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差」の目標値を達成することができなかった。 「不登校児童生徒の復帰率10%以上」については、31.8%となり、目標を達成した。 保護者の特別支援員への満足度は 92.75%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄県と与那原町の平均正答率との差は、目標達成できていないが前年度より改善している。</p> <p>雇用していた学習支援員が臨任教員への登用や特別支援員の途中退職等による欠員補充に努めたが、応募がなく必要な人材確保が十分できなかった。</p> <p>不登校児童生徒の復帰率については、今年度目標は達成しているが、学校側による対応だけでは、まだ十分な対応とはいえない状況である。</p>	<p>TT体制(Team Teaching)の見直しが必要である。支援員は見回りや声掛け等だけでなく、教員との連携のもと、学習内容についても積極的に関わり、より効果的な学習支援に努める。</p> <p>安定した学習環境作りのために、子ども達を理解している支援員に継続して勤務してもらえるような環境づくりとハローワーク等への求人募集を随時おこなっていく必要がある。</p> <p>不登校について、学校だけではなく、地域や関係機関と連携する手法について検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>学習支援員による授業とは別に児童生徒の学び直しの時間を設けて、授業の遅れを取り戻す取り組みを行い勉強への意欲の向上を図る。</p> <p>学習支援員及び特別支援教育支援員のより良い勤務環境の検討を行う。</p> <p>保幼小中連携コーディネーターを配置し、各施設間での子供たちの情報連携を密に行い、学校進学等において躓きをなくし遅れが出ないよう地域連携を深める。</p> <p>不登校を未然に防ぐため、学習支援員や特別支援教育支援員の活用を検討する。また、学校だけではなく、地域や関係機関と連携する手法について検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



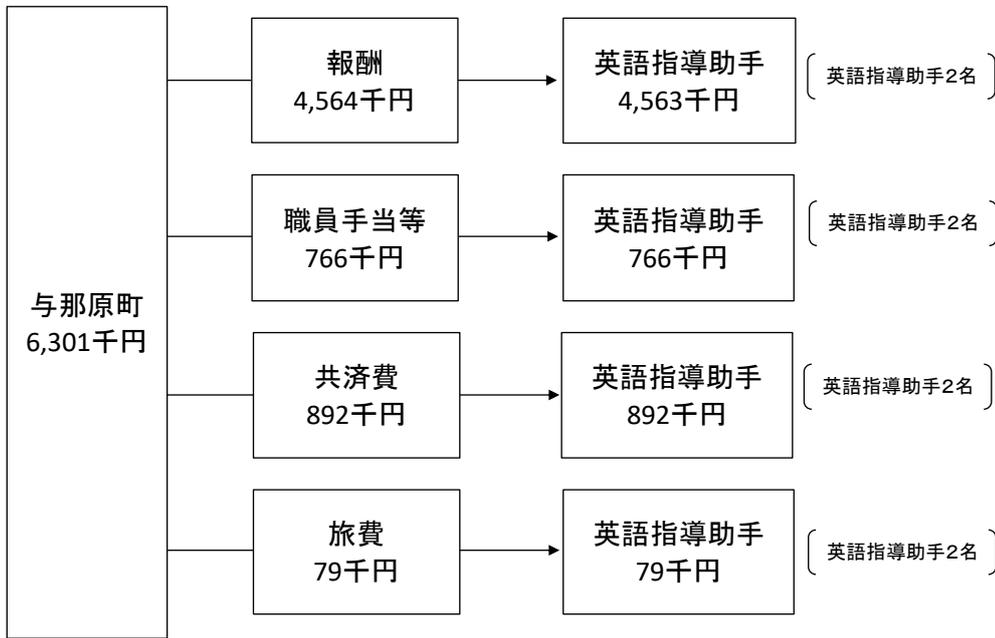
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支援員については、応募者を面接により選定し、「与那原町会計年度任用職員に関する規則」に基づき、任用しており妥当である。</p> <p>○必要に応じて予算の減額を行うなど適正な執行管理に努めたが、退職者補充が出来ず不用額が生じた。</p> <p>○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	国際理解人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童の国際的感覚や視点を身に付けることで、外国語への興味・関心を高め、人材育成へ繋げる為に、英語指導助手を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,267	9,320	8,816	10,416	8,758	
			12,267	7,752	8,455	10,487	6,447	
			0	▲ 1,568	▲ 361	71	▲ 2,311	
			12,267	7,752	8,455	10,487	6,447	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		12,263	7,405	8,232	10,311	6,301	
			9,810	5,923	6,585	8,248	5,040	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	95.5%	97.4%	98.3%	97.7%	
	予算の状況の説明	年度当初予定していた人員の確保が出来なかったため予算2,311千円を減額した。不用額146千円は出勤実績による差額等。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	英語指導助手 3名配置		目標 (2名)	(2名)	(3名)	(2名)		
			実績	2名	7時間45分:2名 6時間:1名	7時間:2名(12月) 7時間:1名(6月)	7時間:1名(12月) 7時間:1名(6月)	
達成状況説明	当初英語指導助手3名(通年1名、後期2名)を予定していたが、英語指導助手2名(通年1名、後期1名)の配置となった。※後期配置が1名しか人材確保が出来なかったため							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		60.4%	68.2%	69.0%	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	児童へのアンケートを行った結果「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童は69.0%と目標を下回った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	アンケートは、小学校3年生及び5年生に行った。 「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童の内訳は、3年生が81.8%、5年生が56.3%だった。 前年度より0.8%UPしたが、5学年の関心度が低いため達成できていない状況である。高学年の英語の授業の取組について検討が必要	アンケートは興味・関心度について実施しているため課題点が確認できないため、改めて他の指標で検証する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 英語の習得度合いを知るために英語検定の受験合格率をもって検証を行う。 外国語授業における児童の要望や不安・不満を確認し、授業の方法等の効率化を図る。 令和4年度からは「主任英語指導助手」を配置し主任英語教諭と連携し、JETプログラムALTの授業配置等の調整及び小学校から中学校に進学する生徒の英語授業のサポートを行い切れ目のない英語教育の支援を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,301	6,301	5,040	1,261	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手については、面接により選定し、「会計年度任用職員に関する規則」に基づき、任用しており妥当であると判断している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>教員のICT機器習熟度が上がり、授業に活用ができるようになってきている。安定してICT機器を活用した指導が行えるようになり、児童生徒の理解度も上がったと考えられる。</p> <p>令和3年度から全児童生徒がタブレットを所有しているため、児童生徒も活用した取り組みが必要になると考える。</p>	<p>GIGAスクール情報教育環境が整い、全児童生徒がタブレットを所有しているため、よりICT機器を活用した授業の幅が広がっている。教員により活用の差が出ないよう、教員間や情報支援員との連携を行う必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>タブレットを含め、ICT機器に関する環境が徐々に整備できているため、より児童生徒の理解が深まる授業を行うよう検討を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,460	12,460	9,968	2,492	

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員については、応募者を面接により選定し、「与那原町会計年度任用職員に関する規則」に基づき、任用しており妥当であり、備品購入については、指名競争入札により選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以下であり概ね適正な規模であったと判断した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	ほっとハート子育て応援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4		
事業内容	・0歳児の待機児童の解消を目的とする。受入増による安全性の確保をしつつ、良好な保育環境を維持するために看護師を配置する。 ・看護師を雇用し、0歳児を10人以上受け入れる保育園に対し、雇用経費の一部を助成する(月額上限 50千円)						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,700	3,000	1,200	600	1,200
		(b) 予算現額	1,800	950	600	600	600
		(c) 増減額(b-a)	▲ 900	▲ 2,050	▲ 600	0	▲ 600
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		1,800	950	600	600	600
	B. 執行済額		1,750	700	600	600	600
	うち交付金充当額		1,400	560	480	480	480
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.2%	73.7%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		・対象施設1園より、辞退の申出があり予算減額(▲600千円)としている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	認可保育園への看護師等配置 8施設中1施設(各1名配置)	目標	(2施設)	(1施設)	(1施設)	(1施設)	
		実績	2施設	1施設	1施設	1施設	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初は2施設に対し補助金交付を想定していたが、1施設において看護師等の採用に至らなかったため、目標を2施設から1施設に変更し事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	看護師等を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	目標	()	(3人以上)	(3人以上)	(3人以上)	()
		実績		3人	3人	3人	
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・本事業により看護師を配置した施設では、3人の待機児童解消に繋がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師のみならず准看護師の採用を促したが、応募状況が芳しくなかった。 ・就労者のうち、医療機関との賃金差や保育士としての技量に不安を感じている者もいると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師等に対するスキルアップ研修等の取組を検討し、求人広告に研修等の充実を記載する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始当初に比べ、0歳児待機児童が減少したことから令和3年度で事業終了とする。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
600	600	480	120	0
<pre> graph LR A[与那原町 600千円] --> B[補助金 600千円] B --> C[コスモス保育園 600千円] </pre>				

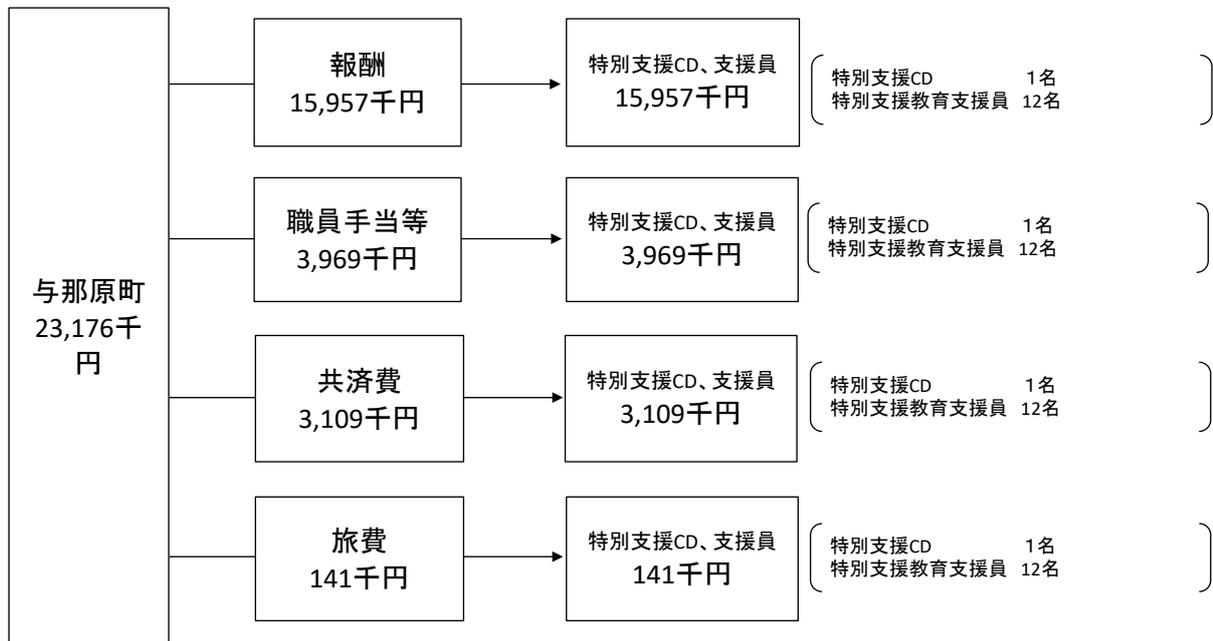
資金の流 れ・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定方法は、補助金交付規則に基づき、町内全ての法人保育所へ周知し、事業実施保育園を選定しているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・受益者との負担関係は妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・予算規模(補助金額)についても保育士給与と看護師給与の差額(月額5万円程度)となっており、適正な予算規模である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途は、保育園からの支出書類(給与明細)等を確認しており、事業目的に即した真に必要なものに限定されている。

市町村名	与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	支援を要する児童に対して、幼稚園における集団生活での対応を支援し小学校生活へのスムーズな促しを図るために、個の発達に応じたきめ細かな支援を行うための特別支援教育支援員及び特別支援保育コーディネーターを配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,972	12,291	21,027	18,226	25,555
			11,674	17,097	20,079	17,420	24,372
			▲ 1,298	4,806	▲ 948	▲ 806	▲ 1,183
			11,674	17,097	20,079	17,420	24,372
	B. 執行済額		11,569	15,882	17,868	15,568	23,176
	うち交付金充当額		9,255	12,705	14,295	12,455	18,540
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.1%	92.9%	89.0%	89.4%	95.1%
	予算の状況の説明		年間を通して特別支援員及び特別支援コーディネーターを配置することができた。不用額1,196千円は、勤務実績による差額。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・特別支援教育支援員12名配置 ・特別支援コーディネーター1名配置		目標 (12名)	(12名)	(10名)	(13名)	
			実績 12名	12名	10名	13名	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	R3は当初活動目標通り、年間を通して支援員の配置をすることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	100%	100%	95%	/
			目標 ()	()	()	()	()
			実績	/	/	/	/
	進捗状況説明	特別支援教育支援員の対応への保護者の満足度95%と、目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する園児に支援員が関りすぎて子ども同士の関りが少なくなってしまう場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する園児の支援方法について、支援員と担任で共有することにより、園児の発達に応じた支援を行うことで改善することができる。 専門的な講師を招いての園内研修等を通して、適切な支援の在り方の専門的な知識の向上を図ることで改善することができる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 支援員を固定せず、ローテーションで園児に支援することで、いろいろな視点で園児の特性を知ることでき、園児の発達に応じた支援内容を担任と情報共有することができるように取り組む。 支援についての研修を行うことで、専門的な知識の向上に繋げることができるように取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
23,176	23,176	18,540	4,636	0



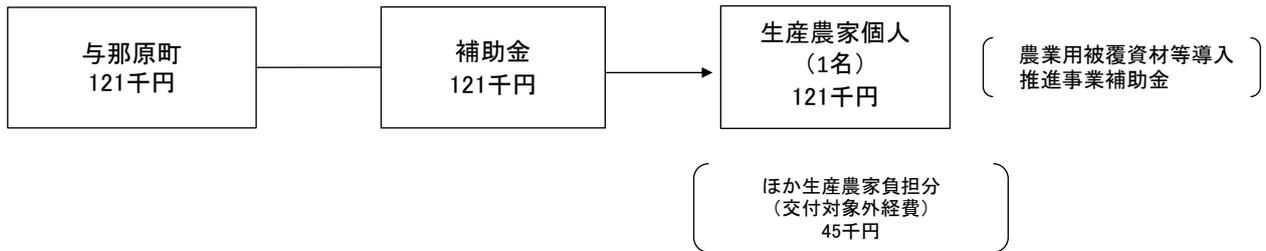
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 支援員の任用については、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当。 予算規模については、前述の例規に基づき算定しており、適正な規模である。 費目・用途については、事業目的に必要であり合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	農業用被覆資材等導入推進補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(ア)		
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	沖縄県では、台風の襲来、塩害、強い日射等の地理的な要因により農作物に大きな被害がでている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,000	1,000	500	300	160
			1,000	1,000	500	151	122
			0	0	0	▲ 149	▲ 38
			1,000	1,000	500	151	122
	B. 執行済額		716	566	244	146	121
	うち交付金充当額		572	453	194	117	96
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		71.6%	56.6%	48.8%	96.7%	99.2%
	予算の状況の説明		補助申請を2件想定していたが申請が1件のみだったため当初予算より38千円減額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。		目標 (8件)	(7件)	(3件)	(2件)	
			実績 7件	4件	4件	1件	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	交付申請2件を予定していたが申請が1件しかなく、1件のみの交付となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ゴーヤー出荷量(単位:kg)		目標 ()	(ゴーヤー2,562 マンゴ4,695)	(ゴーヤー2,611 マンゴ4,785)	(ゴーヤー2,230 マンゴ4,510)	()
	マンゴー出荷量(単位:kg)		実績	ゴーヤー888kg マンゴ4,182kg	ゴーヤー1,101kg マンゴ2,298kg	ゴーヤー130kg マンゴ2,664kg	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	ゴーヤーは、R3年度目標2,230kgに対し実績130kgと目標を大幅に下回った。 マンゴーは、R3年度目標4,510kgに対し実績2,664kgと目標を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、例年より早く接近した台風(4月)をはじめ立て続けに台風が接近した(6月、7月、8月)ことや不十分な防風対策により、出荷量減少に影響を及ぼしたと考えられる。 ゴーヤーについては、病害被害も影響し極端な減少となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ハウスの防風ネット設置等の風対策を考慮した施設導入や農家自身によるハウスの点検、補修等の事前対策が必要。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 農家やJAとの調整を踏まえながら、風対策に必要な資材等の検討と台風時に被害を最小限にする方策等を検討し、農家に周知する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
166	121	96	25	45

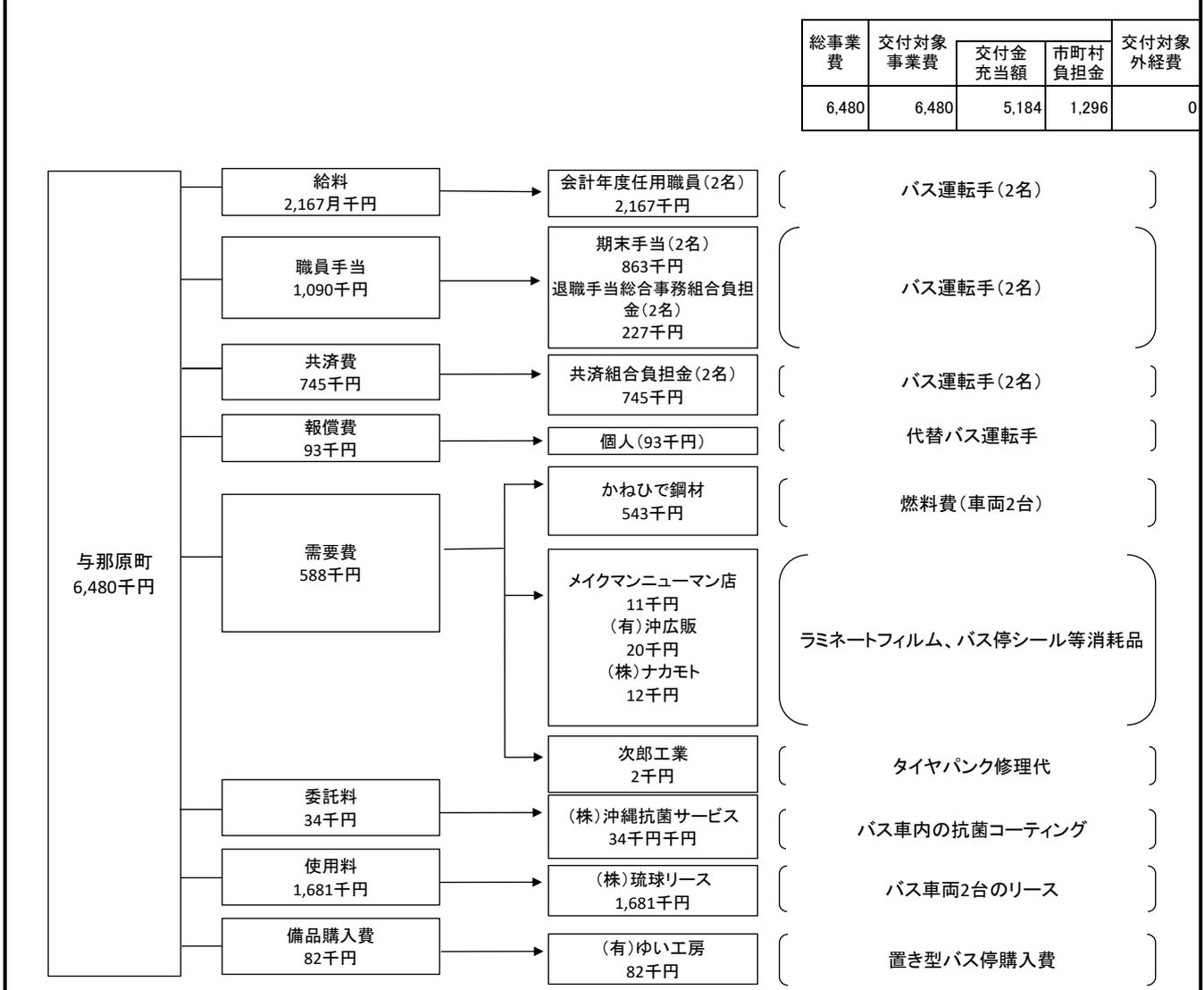


資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○交付規則に基づく交付決定となっており妥当である。 ○例年の実績からも鑑みて適正な予算規模と考えている。 ○受益者負担については、補助金交付規則に定める補助率に基づいており妥当である。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要性について額の確定時に支出等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	新しい公共交通検討事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ		
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保		
事業内容	高齢者や障がい者の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討の可否を検討するために実証実験を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			5,801	9,526	10,397
		(b)予算現額			5,005	8,687	7,953
		(c)増減額(b-a)			▲796	▲839	▲2,444
		(d)繰越額			-	-	
	A.計(b+d)			5,005	8,687	7,953	
	B.執行済額			4,458	7,860	6,480	
	うち交付金充当額			3,565	6,288	5,184	
	次年度繰越額			0	0		
	執行率(%) (B/A)			89.1%	90.5%	81.5%	
予算の状況の説明	コロナウイルス感染防止対策として運行休止等が生じ運行実績に併せ減額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	福祉型町内バスの実証実験の実施	目標	()	(実証実験実施)	(実証実験実施)	(実証実験実施)	
		実績		実証実験実施	実証実験実施	実証実験実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	令和元年度から引き続き、町内バス実証実験を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	需要や課題等の実態把握の完了	目標	()	(実態把握)	(実態把握)	(実態把握)	()
		実績		実態把握の完了	実態把握未完了	実態把握未完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和2年度よりコースを変更して運行しており1日あたりの利用者が増え一定の成果はあったものの、コロナウイルスによる緊急事態宣言等により運行休止も多く、本格導入を検討する為の十分な実験が出来ず、実態把握の完了には至らなかった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策として抗菌コーティングを実施し、利用者より好評を得ている。 ・停留所の増設の要望なども多数あるが、効率的なルート設定等の検討が必要。 ・コロナウイルスによる緊急事態宣言等により運行休止が多く、本格導入を検討する為の十分な実態把握ができなかった。 	利用度によるバス停の統廃合やコース・運行時間の更なる見直しなど利便性を高めるための検討を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度においても、新たなバス停・コースの検証や利用者等へのアンケートも実施し、引き続き本事業を継続し実証実験を行う。 ・実証実験期間中のアンケートや意見を集約し、その結果や乗車数をもとに、本格導入に向けての需要や課題等の実態把握を行い、本格導入の可否を検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

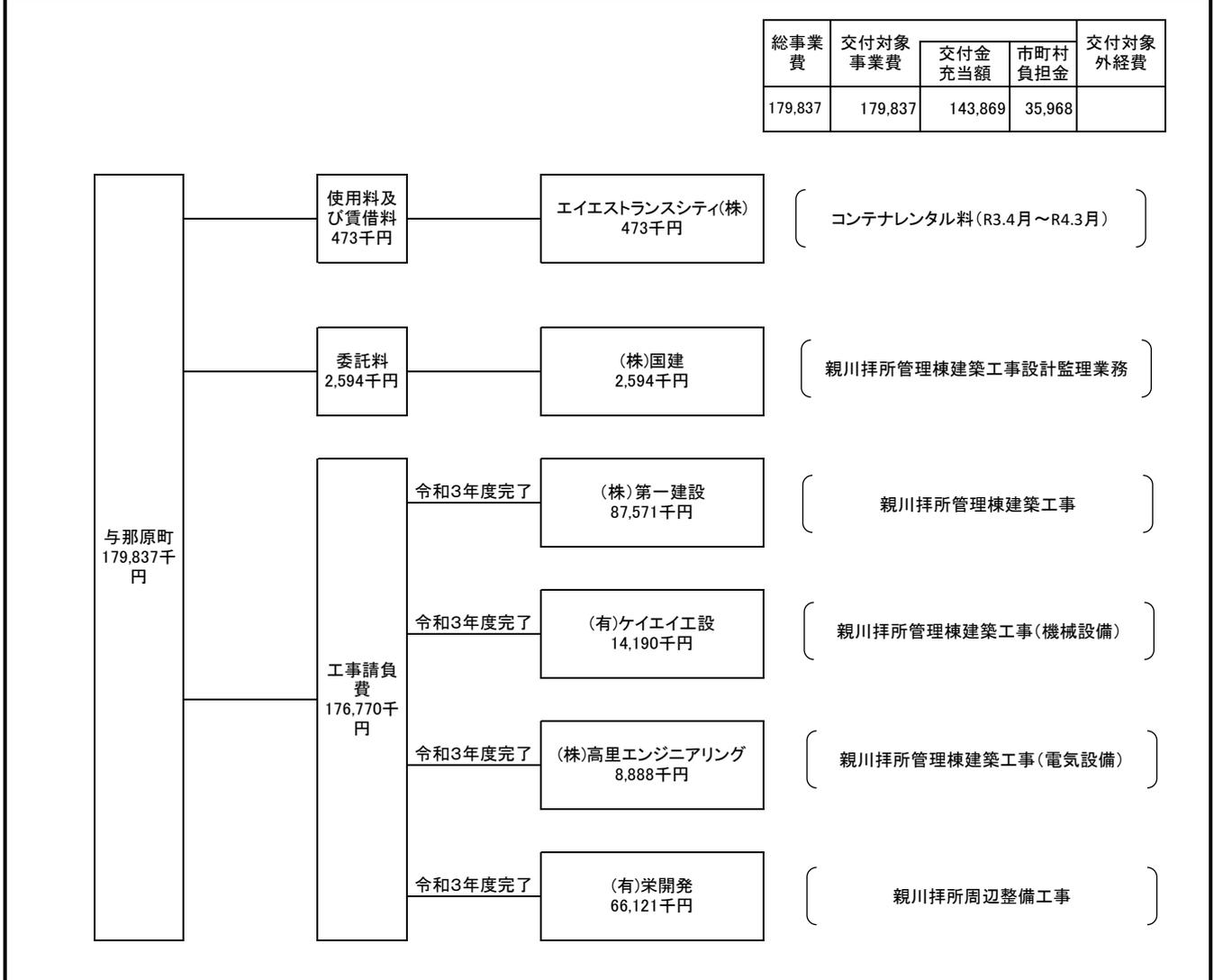


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○バス運転手の任用は、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者の見積りを参考にしており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的に必要なものにおいて支出しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	親川拝所整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部署名	生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化を後世に継承・発信する施設として親川拝所・広場周辺及び管理棟の整備を行う。 竣工後は学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。 						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	24,108		361,322		210,431
		(b)予算現額	24,108		361,322		183,431
		(c)増減額(b-a)	0		0		▲27,000
		(d)繰越額		4,675		21,730	
		A.計(b+d)	24,108	4,675	361,322	21,730	183,431
		B.執行済額	19,051	4,675	335,407	21,730	179,837
		うち交付金充当額	15,240	3,740	230,230	478	143,869
		次年度繰越額	4,675		21,730		
		執行率(%) (B/A)	79.0%	100.0%	92.8%	100.0%	98.0%
予算の状況の説明	入札残が生じたため当初予算から27,000千円減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	親川拝所整備及び管理棟建築工事	目標	()	()	()	(完了)	
		実績				完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初目標のとおり、年度内に拝所整備及び管理棟建築工事を完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	親川拝所整備及び管理棟建築工事の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	【R4成果目標】 親川拝所及び広場来場者数10,400人以上	目標	()	()	()	()	来場者数10,400人
		実績					
	進捗状況説明	工事の完了により拝所を戦前の形態へ復元することができたほか、駐車場の整備等により拝観者や広場利用者が来訪できる環境が整った。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	工事の完了により拝所を戦前の形態へ復元することができたほか、駐車場の整備等により拝観者や広場利用者が来訪できる環境を整えることができた。今後はより一層の来訪者増加を図る。	今回整備した環境をより有効活用するため、来訪者の満足度を上げるための取組み仕組むが必要となることが考えられる。
	今後の取り組み方針	
整備された管理棟や広場を活用し、町の歴史文化を継承していくとともに、観光部局とも連携してイベント会場としての活用することにより、地域活性化に繋げる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



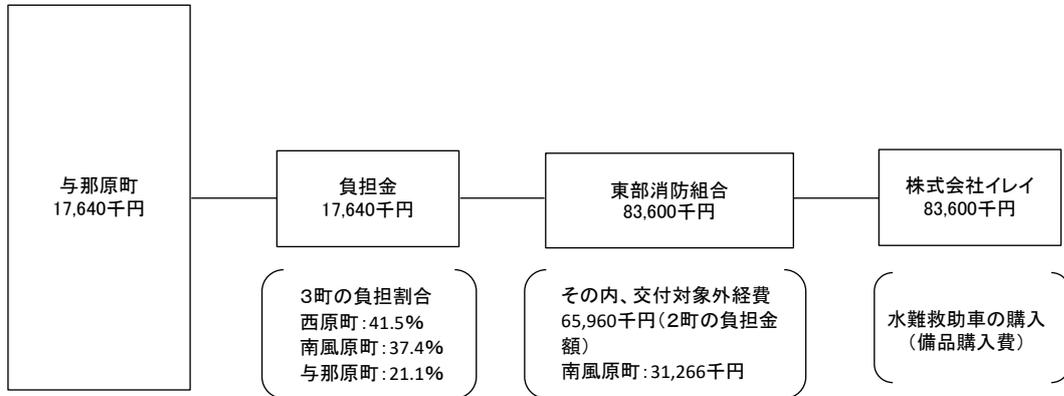
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は3,594千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○整備事業を進めるうえで必要な業務であり、業務内容についても確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9	水難救助車整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部署名	東部消防組合 総務課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)			
事業内容	海水欲やマリレジャーを楽しむ観光客等ビーチ利用者の水難事故や災害への消防活動の機能強化を図るため、水難救助車の整備を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額					20,045	
		(b)予算現額					17,640	
		(c)増減額(b-a)					▲2,405	
		(d)繰越額					0	
	A. 計(b+d)						17,640	
	B. 執行済額						17,640	
	うち交付金充当額						14,112	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)						100.0%	
予算の状況の説明		増減額▲2,405千円は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	水難救助車の配備(1台)		目標			(1台)		
			実績			1台		
達成状況説明	計画どおり水難救助車を配備することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	水難救助車の配備完了(1台)		目標	()			(水難救助車の配備完了)	()
			実績	/			(水難救助車の配備完了)	/
	【R4成果目標】 水難救助訓練(35回/年)		目標	()				(35回/年)
			実績	/				/
	進捗状況説明	一部事務組合構成3町(西原町、南風原町、与那原町)の負担により、計画どおり東部消防組合に水難救助車を配備することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>水難救助車の配備完了により、出動時に車内での着替え、作戦会議等が行えるようになり、現場到着後すぐに救助活動を行える体制となった。 今後は海上保安部、近隣消防、ビーチ・マリナー管理者等関係機関と連携強化に向け取組み迅速・安全・確実な人命救助を行い、観光客だけでなく町民の安心・安全に寄与することができる。</p>	<p>本事業の目的は、観光客等の水難事故や災害への消防活動強化となっているため、水難救助車の配備による救助体制の強化が図られるよう水難救助訓練を実施する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>定期的な水難救助隊訓練で車両操作や積載資機材取扱いの習熟度向上を図り、各関係機関との合同訓練を通して連携構築し、水難救助車を最大限に活かした水難救助体制強化を図る。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
83,600	17,640	14,112	3,528	65,960



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○備品購入については、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業の適切な運営に伴い、予算執行も適切に行われた。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	